整理No.	39

平成26年度 施策評価シート（評価対象：H25年度）

【１．施策名】

施策コード	212-01	基本施策	良好な自然環境の確保	所管部局	環境部
施　策　名	自然環境の保全と生物多様性の確保			主担当課	環境政策課
				関係部局課	農林部農業政策課 農林部森林整備課
施策の目標	市民・事業者・行政の協働のもと、自然環境の保全や希少動植物を保護することにより、次世代へ継承すべき多様で豊かな生態系の確保を目指します。				

【２．施策に取り組む理由】

施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など
・多様な動植物に恵まれている本市の豊かな自然を次の世代に引き継いでいくため、自然環境保全地域における開発等の規制、市民の関心が高まっている希少動植物の保護や外来生物の駆除など、生物多様性の確保のための取組を実施する。 ・森林整備に対する意識が希薄化している状況の中で、森林所有者の高齢化、人口の流出などにより、未整備森林が増加しているため、「間伐対策補助事業」を実施し健全な森林を造成する。 ・減農薬により生産した農作物を求める消費者の需要が高まっている中、性フェロモン剤購入などの「環境にやさしい農業推進事業補助金」を通じ、環境にやさしい農業の推進を図る。

【３．施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H22）	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値（H28）
ホタルを見かけることがある市民の割合	%	18.5	17.8	17.5				30.0
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
「大切にしたい長野市の自然（改訂版）」（長野市版レッドデータブック）に掲載されている身近な減少種であるホタルの目撃割合（まちづくりアンケート）	中山間地の実績値である30%を市全体の目標とする。							

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H22）	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値（H28）
自然環境保全推進委員活動報告件数	件	352	489	345				400
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
自然環境の損傷並びに地形、地質及び希少動植物の状況等について調査・報告をしていただくため、市長が委嘱する自然環境保全推進委員の活動報告の件数	市内の自然環境に関する情報を継続的に調査し、施策に反映させるためにも毎年度 400件程度の報告をしていただきたいと考える。							

25年度の取組内容実績	
	・長野市自然環境保全条例に基づく自然環境保全地域内での開発の規制 ・飯綱高原にふさわしい植生等を調査するための実験林事業（平成元年度から継続） ・シナイモツゴなど市内に生息する希少動植物の保護事業 ・市内の稀少な動植物の生育状況等をまとめた「大切にしたい長野市の自然（改訂版）」を関係機関等に配布 ・市の補助事業の利用した間伐は少なかったが、県の補助事業を活用した間伐は多く実施 ・環境にやさしい農業推進のために、性フェロモン剤を43,000本以上、生分解性マルチを300本以上導入

【４．総合評価】

総合評価　（目標値に向けて）	一部に努力を要する

	評価の理由・説明等
適応性 市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか	環境問題が深刻化・多様化する中にあって、地域の自然環境を守っていくことは、今後、益々重要となってきているという状況の中で、民間団体等と協働して希少動植物の保護や特定外来生物の駆除を実施しているほか、自然環境保全地域の開発を規制している。また、性フェロモン剤などの普及により減農薬を推進したり、適切な間伐を実施することで、健全な自然環境の確保をしている。
達成度 施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか	環境負荷軽減のために減農薬を推進しているが、農産物の付加価値化の取組が必要であったり、健全な森林を造成するために適切な間伐や森林の集約化を推進しているが、境界が不明確なために実施までに時間がかかったり、希少動植物の保護に関しては、即座に対応できないこともあったりと、課題はあるが、市民の方の自然環境保全や生物多様性の確保への関心の高まりが見られるので、引き続き、事業を実施しつつ、その啓発を進めていく必要がある。
事業の成果等 施策を構成する事務事業は目標を達成しているか	事務事業については、気象条件の変化でホタルの発生時期がずれたり、気象災害による農業被害で通常の農薬散布をせざるを得ない状況であったり、県の補助事業を活用した間伐が多く実施されたことなどから、ほとんどの項目で目標を達成できなかった。しかし、ホタルが全く発生しなかったわけでもなく、県の補助事業での間伐が多く実施されたことで、市全体の間伐面積は増加しているなど、一定の成果は見られる。

【５．今後の展開】

	課　　題	課題解決に向けた具体的な取組
1	希少動植物の保護や外来生物の駆除など、生物多様性を確保については、長い期間の取組を必要とする場合もあり、効果の検証が難しい。	市内の希少な動植物の生育状況等まとめた「大切にしたい長野市の自然（改訂版）」を基に、自然環境保全の行動計画を作成し、民間団体等と協働し、希少動植物の保護や外来生物の駆除など生物多様性確保のための取組を実施する。また、自然環境の調査を継続的に行い、その結果を取組に反映させる。
2	農業分野では、減農薬により環境負荷軽減に貢献しているが、農産物の付加価値化につなげる取組が弱い。林業分野では、国の補助対象外である切捨て間伐が必要なところがあり、また、効果的な間伐のために森林の集約化が必要である。	農業分野では、環境にやさしい農業のため、性フェロモン剤などの購入補助制度の周知を図るとともに、農産物の付加価値化の取組についても指導する。林業分野では、切捨て間伐を実施し、健全な森林を造成していく。

施策展開の方向性（H26年度以降）	・自然環境保全地域の開発規制を引き続き実施する。 ・自然環境保全のための取組指針・行動計画などを作成し、具体的な取組を実施する。 ・健全な森林を造成するために、森林の間伐や集約化を推進する。 ・環境にやさしい農業の推進のため、引き続き性フェロモン剤や生分解性マルチの購入補助制度の周知を図り、導入を促進する。

【６．施策を構成する主な事務事業】

番号	事務事業名 ［事業区分］ 担当課名	事務事業の概要	事業の取組実績・成果
1	自然環境保全調査 ［内部管理的事業・その他］ 環境政策課	動植物の生息・生育環境の継続的な調査・対策等により、生物の多様性を確保するとともに、森林・河川・農地などの自然環境の保全を図る。	市内の自然環境の状況等について調査を継続するとともに、団体等と協働し、希少動植物の保護や外来生物の駆除を実施した。
2	間伐対策補助金 ［補助金・金銭給付事業］ 森林整備課	民有林の間伐を受託したり、森林の集約化を行ったりする団体等へ補助金を交付することにより、健全な森林の造成を図る。	平成25年度は森林税を活用した県事業での間伐を多く実施したため、本事業での実績は極端に減少したものの、市前代でみると間伐面積は増加している。森林の集約化面積については、国の補助事業の利用が多く、本事業での面積は減少した。
3	環境にやさしい農業推進事業補助金 ［補助金・金銭給付事業］ 農業政策課	減農薬・減化学肥料、有機資源の利活用等の取組を支援し、安全・安心な農産物の生産と農業による環境負荷の軽減を図る。	雹、霜、干ばつ等気象災害が例年以上に農業被害をもたらし、通常の農薬散布による対応が増え、性フェロモン剤の導入本数が例年を下回ったが、生分解性マルチの導入本数は324本と目標を達成しており、環境負荷軽減に貢献している。
4			

事業の分析結果

番号	達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針
1	C	A	B	B	B	継続
2	C	A	A	A	B	継続
3	C	A	A	A	A	継続
4						

年度別事業費（千円）（H26は予算額）

番号	H23	H24	H25	H26
1	12,485	18,678	7,807	7,828
2	15,436	18,659	856	17,250
3	8,212	7,406	7,154	8,312
4				

5		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
6		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
7		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
8		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
9		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
10		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26